

## 会 議 録

会議名	令和3年度 第3回田名地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 田名まちづくりセンター 電話042-761-0056 (直通)		
開催日時	令和3年7月13日(火) 18時00分～19時30分		
開催場所	田名公民館 大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	2人(田名まちづくりセンター所長、地域政策担当)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>(1) 地域活動への参加促進について</p> <p>ア さがみはらポイント田名モデル地区事業について(報告)</p> <p>イ 田名地区自治会連合会における自治会加入促進策について(報告)</p> <p>(2) 地域活性化事業交付金について</p>		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

### 1 開会 (志村会長)

※議題に入る前に、事務局から今年度のまちづくりを考える懇談会が新型コロナウイルス感染症の影響によって中止となったことの報告を行い、まちづくり会議としての今後の対応については役員会で協議することにした。

### 2 議題

#### (1) 地域活動への参加促進について

##### ア さがみはらポイント田名モデル地区事業について

令和元年12月から令和3年3月まで実施された相模原ポイント田名モデル地区事業について、まちづくり会議としての意見等をまとめた原案を事務局から説明した。

##### <主な意見等>

なし

##### <結果>

原案を一部修正して、市所管部局に提出することになった。

##### イ 田名地区自治会連合会における自治会加入促進策について

代田委員 (自治会連合会副会長) から現在の取組状況等を報告した。

##### <主な意見等>

○自分は田名地区で生まれ育っているため、自治会に加入することが当然と考えてきた。加入は損得勘定で考えることではないと思う。

○自治会へ加入していなくても、通学路の見守り、防犯活動、生活環境整備等のような自治会活動の受益は変わらない。もし自治会が存在しなかった場合、どのような状況となるかを地域住民に知らせないといけないのではないか。

○ごみ出しマナーの悪い者がいて、ごみ集積所を自治会が清掃している。地域のごみ集積所の維持管理を自治会が行っていることを周知しても良い。

○熱海の土砂災害の報道で、近所付き合いの大切さを改めて感じた。

○自治会の活動に対する地域住民への周知が不足している。また、未加入者への意識啓発を促すようなことをする必要がある。

○自治会活動への意識啓発という意味では、子どもをきっかけに行えば、その親

に対してもアプローチできる。子どものための地域づくりを進めていく中で、子どもをどう育成して見守っていくかを地域で考えていったら良いのではないか。

- 田名地区に転入してきた場合、大人にとっては生活の拠点ということだけかもしれないが、この地で生まれ育つ子どもにとっては田名が故郷となる。子どもの故郷の思い出となるお祭りや神輿を継続させることの意義は地域住民の責任ではないか。そして、田名で育った子どもたちに「田名で生まれて良かった」と思ってもらえれば、その子が大人になった時に地域活動の担い手となり、地域を盛り上げていってくれる。そうやって将来につなげていくことが大切である。
- 自治会加入の方法を知らない転入者がいた。転入時が自治会加入を勧めるタイミングではないか。
- こどもセンターで若い母親に居住地区名（自治会名）を聞いても、知らないという回答が多い。引っ越してきた方には地域生活での不安もあろうかと思うので、自治会からの声掛けも必要ではないか。
- 新たに造成された分譲地区画の世帯がまとまって自治会を退会したこともあった。
- 自治会加入率の低下という問題に鑑みて、窓口で加入案内するなど行政がもっと自治会加入促進の支援をしても良いのではないかと思う。
- 田名地区では複数の地区で同時期に子ども会が解散してしまった。自治会においても同様のことが起こらないか懸念している。
- 自治会の活動として、自治活動とボランティア活動がある。自治活動とは防災、交通安全、防犯活動等あり、ボランティア活動とはお祭り、スポーツ大会等の地域交流イベントである。
- 自治活動は自治会が存在していなくても、必要な公的な活動であろう。自治会加入率が50%を下回ってしまう現状を踏まえると、自治会活動を見直す時期となったのではないか。
- 地区でも考えていかなければいけない問題だが、市でも専門的に検討してもらいたい。
- 自治会活動を知らない人に向けて、何か配布できないか。市の広報紙について、現在は新聞折り込み（又は郵送）で行っているが、昔は、自治会が市からの受託業務として広報紙を配布していた。昔のように自治会で配布するようにして、その中に地域情報紙も折り込めば、市の情報と地域の情報を盛り込める。
- 公民館事業への参加申し込みについても地域情報紙からが多い。その地域情報紙の回覧範囲が自治会加入世帯のため、未加入世帯は見る機会すらない。
- 地域への情報発信については、皆で考えて取り組んでいく必要がある。

## (2) 地域活性化事業交付金について

事務局より、申請を受けている案件（1件）について内容の説明を行った。

### <申請案件>

田名地区自治会加入促進（退会防止）対策事業

### <主な意見等>

- 地域住民に対して自治会活動に関する周知が不足していると思われるため、是非HPやリーフレットを活用して積極的な普及啓発に取り組んでもらいたい。
- 田名地区に転入されてきた住民の中には、自分の自治会区域名を知らない者や外国籍の者もいるため、現状をしっかりと捉えて取り組んでもらいたい。
- 申請のあった事業については、自治会加入率の低下はまちづくり会議でも取り上げている地域課題でもあることから、今後の活動に期待する。

## 3 その他

次回のまちづくり会議は、令和3年8月17日（火）18時からとし、市からモデル地区事業の結果報告を予定している。

## 4 閉会（木下副会長）

以上

令和3年度 第3回田名地区まちづくり会議委員名簿（敬称略）

令和3年7月13日

	団体名	役職	氏名	出欠
1	田名地区自治会連合会	会長	志村 勝美	○
2		副会長	代田 修	○
3		副会長	山田 二郎	○
4		会計	高野 仁	○
5		事務局長	花房 博文	○
6	田名自治会連合婦人会	会長	外岩戸 満里子	○
7		副会長	阿部 真美	○
8	田名公民館	館長	大谷 政道	○
9	田名地区社会福祉協議会	会長	田所 恒男	○
10	田名地区民生委員児童委員協議会	会長	江成 陽子	○
11		書記	首藤 幸治	○
12	田名財産管理委員会	会長	田所 昌訓	
13	田名地区公共交通整備促進協議会	事務局長	鈴木 鐵蔵	○
14	田名地区防犯協会	会計	篠崎 隆司	○
15	田名地区青少年健全育成協議会	会長	木下 國博	○
16	P T A田名中学校区三校合同会議	代表（田名小学校P T A副会長）	永保 貴章	
17	田名地区老人クラブ連合会	会長	小島 昭二	
18	J A相模原市田名支店運営委員会	市農協理事	田所 茂雄	○
19	田名地区ボランティアグループ	代表（市食生活改善推進団体 わかな会田名地区）	浅見 泰子	○
20	田名地域包括支援センター	センター長	矢口 君代	○
21	有識者			

出席（○） 17

欠席（ ） 3

合計 20